

筑波移転阻止をめざし不屈の意志と情熱をもつて
ハ技ハでいる全學の學友諸君！　八月三日以来
に130日を突破した文學部の本館対面パリケードズ
ライキ、そして9月25日以来の理農教ストライキ
決行は、大學当局が「錯誤」しつつも、讀書會計
一百紙以上、M.P.委解散を具體的目標に、
二つとも決定させんに至つてゐる。一本倒鉢対策
部より全く機能できず、各家庭へのさまである文
件によるストリーフ崩し運動も功を奏せず、我々の目
標に対するは、毛羽や大要因反対する他ないとい
ふことを自ら悟り始めている。こつした状況の中で
昨日理學部學生大会を開き、無期延ストライキに
加入した。二川まで一貫して無學無財民ストライキ
を追求してきた全學斗は、二の意義を評議し、その
斗の内実を強化していかないと、考える。

（理學部錯期限ストライキに突入）

昨日の理學部學生大会は、600名以上の結果の中で
激発的討論がなされた。対案の一方に「教官の挑動
をやめ、リストの解除条件を極めて容易なものにする
」というものが立ったわけだが、それを見ると内に討論
の中を否決されてしまった。その中で議長田提実によ
てこの無期延ストリーフを原則的に可決されてしまつたのであ
る。理學部斗争委員会は、果た現状でのストを強
制的をのりこえるべく、明確に「筑波移転阻止」
を改めさせて争うの相私化を追求した。30名の学友が
二つに賛同の意を表したこのよ、以降の進歩論にお
ける斗争発展への方向性を内包していくといえる。

学生大会の結果において保留を減少したことは、由
来タヌトに決起したことを示している。しかし今々
の内実は、對評議会田委に向けた過度の意を反映
といつことに全ての学友に決断を迫られ、多くの学
生がこれでいながら二つに分れる如く脆弱である。我
々は想文変更と新しい大學秩序を樹立するものとし
ての自主権を強固に發展させることなく努力していき
たい。又現在一年生が独自の個性化を一途に進して
いることから、こうした学友をもぎ込んだ運動を
みり出していくことを考えてゐる。

文斗委再度評議全國反共要求

まことに阿らぬの回答を要求していただけ、それが拒否されたことに對して本居の書類自筆型をもつて答えた。そして再度14日までの期限をつけて、署長に要望書を提出した。既にこの要望書から此のたゞは本館占地をもつて答えることを用意してゐる。更にさきの或は強力な手段をも同時に準備してゐる。我々は11月に評議会田交をみちどるへくクラスにおける細密化を、現在の低落した状況を反映すべくねじていなからいむる有いだろ。

またスル突入以来我々は一貫して獎勵金の交付を、戻篠をもぢ出す形において実現するよう学生部に申し入れてきた。彼らは全く理由にもよりぬい趣旨によって二これまで我々の要求をうなづいたわけだ。数十回にわたる交渉の結果、現在美学第一を一括りのベリクードストライキのこの斗争の中でのいかみちどかれつつあるということを説いておきたい。

ハ抜いている生物学の学友諸君、八月五日以来まで
に130日を突破した文理部の本館封鎖ストライキードス
ライキ。そして9月25日以来の理農教ストライキ。
決行は、大學当局が「競争」しつつも、漏洩費討
自殺教団、MD専解散を具体内お日程にのぼらせ
ることを意図させたに至つてゐる。ト本館封鎖対策
一部」も全く機能できず、各家庭への「まざまな文
化によるストップし崩し策動も功を奏せず。我々の主
義に対するは、もはや大差出立に応する他ないといふ
ことを自ら悟り始めている。こつした状況の中で
日本理農部学生大公女聞ナル、無理屈ストライキに
突入した。二川まで一貫して「文理部専限ストライキ
を追求してきた全員耳は、一二の意義を評価し、その
半の内実を察化していくたいと考える。

総務部学生大会は、600名以上の参加の中で、
意見交換討論が与された。討論の一環に「政官の援助
をやめ、ストの解除条件を極めて容易なものにする
」というものがあつたわけだが、それより前に討論
の中を否決されてしまった。その中で議長田邊案とし
ての無期ストを巨創的に可決されていったのであ
る。連学部斗争委員会は、更に現在までのストを強
めをすべく、そして実執行部の掌する非民主的決定反
対運動をのりこえるべく、明確に「浪波移転阻止」
を改名して争点の相私化を追求した。130名の学友が
二月に賛同の意を表した二二〇分の連学部にあ
わき斗争発展への方向性を内包しているといえる。

に結集せよ

全室内を観た。一致としての運動の展開を見るべく、毎日は又日に一評議会を開き要緊な決策を講じ、それを予定している。これに向けて各学部における組合の競争が次々と行なわれてゐる。時には組合の内訌も起つてゐる。と考へてゆくに、これは必ずしも後日の騒動でなく、各

12日(火)「語彙収集会」
15日(金)「定期評議会」

2:00
G50|起居

卷之三

正月
八日
上